

表2 評価基準(2013年度から2016年度入学まで)

学習・教育到達目標の達成度評価基準について(2013年度から2016年度入学者向け)

- ・電子情報工学科の学生は、プログラムの学習・教育到達目標を達成する必要があります。
- ・下の表は、各学習・教育到達目標とそれに関連する科目群と「学習・教育到達目標を達成」したと評価される達成基準ポイント数を示しています。
- ・皆さんは、この表を参考にして、卒業要件だけでなく、JABEE修了要件にあたる達成基準ポイントをクリアしなければいけません。
- ・クリア条件は、別紙「JABEE修了要件について」に詳細に記述されていますのでよく読んでください。
- ・各科目の履修・合格で得られる達成度ポイントは、最終評価点にかかわらず、合格すれば4ポイントが付与されます。各到達目標に属する科目で得た達成度ポイントの総計が達成基準ポイントを上回れば、その到達目標を達成したと評価されます。
- ・達成度ポイント管理用のソフトが用意されており、各チュータとの後期ガイダンス時に自分でチェックできます。
- ・**学習・教育到達目標の水準として、本プログラムでは、「技術士第一次試験合格者の水準」を設定している。**

学習・教育目標	科目群とJABEE修了要件	達成基準ポイント
A	工学倫理(必修) 専門選択科目: 知的所有権から(0科目以上) 総合科目: 工学倫理および日本語の技法を除く共通基礎分野から(0科目以上)、人文科学分野の総合科目から(1科目以上)、社会科学分野の総合科目から(1科目以上)、自然科学分野の総合科目から(2科目以上)、表現・健康・スポーツ分野から(1科目以上)	24
B-1	フレッシュマンゼミナール(必修)、情報コミュニケーション(必修)、日本語の技法(必修) 総合科目: コミュニケーション論、リーダーシップ論、日本語表現法、現代社会とことば、文学Ⅰ、Ⅱ から(0科目以上)	12
B-2	英語AⅠ(必修)、英語BⅠ(必修) 外国語科目: 英語AⅡ、英語BⅡ、英語CⅠ、英語CⅡ、英語DⅠ、英語DⅡから(4科目以上) 英語応用Ⅰ、英語応用Ⅱ、英会話基礎Ⅰ、英会話基礎Ⅱ、初修外国語科目、外国語共通科目から(2科目以上) 専門選択科目: 情報技術英語Ⅰ、情報技術英語Ⅱから(0科目以上)	32
C-1	電気回路実験(必修)、プログラミングⅠ(必修) 専門選択科目: 微分方程式、ベクトル解析、JAVAプログラミングから(0科目以上)	8
C-2	微分積分学Ⅰ(必修)、微分積分学Ⅱ(必修)、線形代数学Ⅰ(必修)、線形代数学Ⅱ(必修)、情報工学(必修)、情報数学(必修)、回路理論Ⅰ(必修)、回路理論Ⅱ(必修)、電子回路Ⅰ(必修)、電磁気学Ⅰ(必修)、確率統計学Ⅰ(必修)、論理回路(必修)、コンピュータシステム演習(必修) 専門選択科目: 制御システム、信号処理工学、情報通信ネットワーク、力学、熱力学、電磁気学Ⅱ、確率統計学Ⅱ、データベース、オペレーティングシステム、半導体工学、光エレクトロニクス、通信工学、集積回路、コンピュータアーキテクチャ、情報音響学、知能情報工学、画像処理工学、図形処理工学、ロボット工学、電気機器学、エネルギー変換工学から(0科目以上)	52
D-1	電子情報基礎実験(必修)、電子情報工学実験Ⅱ(必修)、電子情報工学実験Ⅲ(必修)、プログラミングⅡ(必修) 専門選択科目: デジタル回路設計、アルゴリズム論、マイクロコンピュータシステム、アルゴリズム演習、電子回路Ⅱ、パルス回路、電子計測、センサー工学、情報理論、アルゴリズム設計、ソフトウェア工学から(0科目以上)	16
D-2	電子情報工学実験Ⅰ(必修)、卒業研究ゼミナール(必修) 総合科目: インターンシップ研修から(0科目以上) 専門選択科目: コンピュータネットワーク演習から(0科目以上)	8

注:

- 1) 太字は必修科目と必要な科目数を表しています。
- 2) 各到達目標ごとの達成基準ポイントは、明示された科目群から、JABEE修了要件として必要な必修科目数の合計数×各科目に割当てられた4ポイントを達成基準ポイントとしています。
- 3) 下線は基礎教育科目を表しています。達成基準ポイントへの換算は、各科目に割当てられた4ポイントです。
- 4) なお、上記以外の科目でも、プログラムの学習・教育到達目標が割り当てられた科目を履修し合格すれば、達成度ポイントはカウントされます。